

## 様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 向洋学園

### 1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配 置 困 難
服飾家政専門課程	ブライダルビジネス科	夜・通信	240 時間	160 時間	
商業実務専門課程	医療健康スポーツ科 医療事務コース	夜・通信	240 時間	160 時間	
	医療健康スポーツ科 スポーツトレーナー・インストラクターコース	夜・通信	160 時間	160 時間	
(備考)					

### 2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校ホームページの「学校情報」にて公表 :

ブライダルビジネス科

[https://www.bridal-medical.jp/company\\_new/](https://www.bridal-medical.jp/company_new/)

医療健康スポーツ科 (医療事務コース)

[https://www.bridal-medical.jp/company\\_new/](https://www.bridal-medical.jp/company_new/)

医療健康スポーツ科 (スポーツトレーナー・インストラクターコース)

[https://www.bridal-medical.jp/company\\_new/](https://www.bridal-medical.jp/company_new/)

### 3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 向洋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

当校ホームページの「学校情報」にて公表：  
[https://www.bridal-medical.jp/company\\_new/](https://www.bridal-medical.jp/company_new/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前職 県立高等学校 教諭	令和7年 5月29日～ 令和11年 5月29日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	現職 企業役員	令和7年 5月29日～ 令和11年 5月29日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

## 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 向洋学園

### ○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。

1. 前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。
2. 1. で計画したカリキュラムを基に、全教員（常勤、非常勤）による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。
3. 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。
4. 授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。

授業計画書の公表方法	当校ホームページの「学校情報」にて授業計画(シラバス)を公表。 <a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/syllabus.html">https://www.bridal-medical.jp/company_new/syllabus.html</a>
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。成績評価の基準は、優(100~90点)・良(89~70点)・可(69~40点)・不可(39~0点)として、不可の場合は追試とします。

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>定期試験において履修科目の成績(筆記または実技試験、課題提出等)を点数(100点満点)に換算した上で、履修した学生の平均を求める。 学科及び学年毎に学生の成績分布表を作成し、警告対象となる下位1／4の範囲を明確に示します。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	当校ホームページの「学校情報」にて成績の分布状況を公表。 <a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p>	
卒業の認定となる学修成果	卒業の認定となるディプロマポリシーを定める。 そして、ディプロマポリシーで要求する能力を身に付け、かつ、後述する卒業要件を満たした学生の卒業を認定する。
卒業の要件	<p>(1)本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。 ※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること</p> <p>(2)欠席日数が出席すべき日数の1／4以下であること。</p>
卒業判定	<p>(1)卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。</p> <p>(2)最終の卒業認定は校長が行う。</p>
卒業の認定に関する方針の公表方法	当校ホームページの「学校情報」にて「ディプロマポリシー」及び卒業認定基準を公表 <a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 向洋学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>
財産目録	<a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>
事業報告書	<a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		服飾家政専門課程	ブライダルビジネス科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	
2年	昼間	2027 単位時間	470 単位時間	276 単位時間	1281 単位時間	
					0 単位時間	
		2027 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	
60人		60人	0人	2人	9人	
		11人				

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。
1. 前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。
2. 1. で計画したカリキュラムを基に、全教員（常勤、非常勤）による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計画(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。
3. 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。
4. 授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。成績評価の基準は、優(100~90点)・良(89~70点)・可(69~40点)・不可(39~0点)として、不可の場合は追試とします。

## 卒業・進級の認定基準

### (概要)

#### 1. 卒業の認定となる学修成果

卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果として模擬結婚式やリアル結婚式の計画立案、実施により進級や卒業を認定します。

(1) ブライダルビジネス科ではブライダル関連の基礎知識を理解し、結婚式及び関連する職業において結婚のプロデュースができること。

(2) 国家資格（3級ブライダルコーディネート技能検定）の受験。

#### 2. 卒業の要件

(1) 本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。

※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること

(2) 欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。

#### 3. 卒業判定

(1) 卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。

(2) 最終の卒業認定は校長が行う。

## 学修支援等

### (概要)

クラス担任制。学生との二者面談を定期的に実施し、また保護者との三者面談も実施し、学習や就職等の支援を行っている。

## 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	1人 ( 5.6%)	17人 ( 94.4%)	0人 ( 0%)

### (主な就職、業界等)

ブライダル関連企業（専門式場、ホテル、プロデュース会社、フォトスタジオなど）

### (就職指導内容)

- 企業見学会を開催し、職種や求められる人材像などの説明を実施。
- 1年次の2月から、約1年8ヶ月の企業実習を通じ、適性の確認、マッチングを試みる。
- 二者面談及び三者面談での希望及び意思確認のうえ、書類作成、面接、集団討論、グループディスカッションなどの就職試験対策を随時実施。
- 関連企業の人事担当の方に来校いただく、校内企業説明会を実施。

### (主な学修成果（資格・検定等）)

ブライダルコーディネート技能検定、アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験、パーソナルカラリスト検定3級、2級。秘書技能検定2級、準1級など

### (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	6 人	10, 9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、病気療養、家庭状況の変化		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生との面談と保護者への学校生活や学習状況の報告を定期的に実施、新入生の保護者説明会と三者面談の実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	医療健康スポーツ科 医療事務コース		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類		
				講義	演習	実習
2年	昼間	2006 単位時間		684 単位時間	49 単位時間	504 単位時間
				2006 単位時間		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60の内数人		4人	0人	1人	7人	8人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。
<ol style="list-style-type: none"> <li>前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。</li> <li>1. で計画したカリキュラムを基に、全教員（常勤、非常勤）による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計画(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。</li> <li>授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。</li> <li>授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。</li> </ol>
成績評価の基準・方法
(概要) 学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。成績評価の基準は、優(100~90点)・良(89~70点)・可(69~40点)・不可(39~0点)として、不可の場合は追試とします。
卒業・進級の認定基準
(概要) <ol style="list-style-type: none"> <li>卒業の認定となる学修成果           卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果のプレゼンテーションを判断材料とし、進級や卒業を認定します。           <ol style="list-style-type: none"> <li>医療健康スポーツ科医療事務コースでは医療事務の基礎知識を理解し、レセプトの作成、医事コンピュータ、電子カルテの操作ができること。</li> <li>診療報酬請求事務能力認定試験の受検。</li> </ol> </li> <li>卒業の要件           (1)本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。            ※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること            (2)欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。         </li> <li>卒業判定           (1)卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生について         </li> </ol>

ては追試を実施後、再審議となる。  
(2)最終の卒業認定は校長が行う。

#### 学修支援等

##### (概要)

クラス担任制。学生との二者面談を定期的に実施し、また保護者との三者面談も実施し、学習や就職等の支援を行っている。

#### 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 ( 0%)	6人 ( 100%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等)			
国立病院機構、総合病院、クリニック、調剤薬局			
(就職指導内容)			
1, 病院実習を通じ、適性の確認、マッチングを試みる。 2, 病院の人事担当者にご来校いただき、校内企業ガイダンスを実施。 3, 二者面談及び三者面談での希望及び意思確認のうえ、書類作成、面接、集団討論、グループディスカッション等の就職試験対策を隨時実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
診療報酬請求事務能力認定試験、電子カルテ検定、医事コンピュータ検定、医師事務作業補助者検定、医療事務検定、医療秘書検定、全経簿記検定、日商簿記検定、電卓検定、手話検定、秘書検定など			
(備考) (任意記載事項)			

#### 中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%

##### (中途退学の主な理由)

##### (中退防止・中退者支援のための取組)

担任による学生との面談と保護者への学校生活や学習状況の報告を定期的に実施、新入生の保護者説明会と三者面談の実施

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	医療健康スポーツ科 スポーツトレーナー・インストラクターコース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	
2年	昼間	2068 単位時間	785 単位時間	99 単位時間	1184 単位時間	0 単位時間	
			2068 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60の内数人		15人	0人	1人	9人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。
1. 前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。 2. 1. で計画したカリキュラムを基に、全教員(常勤、非常勤)による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計画(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。 3. 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。 4. 授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。成績評価の基準は、優(100~90点)・良(89~70点)・可(69~40点)・不可(39~0点)として、不可の場合は追試とします。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 卒業の認定となる学修成果 卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果のプレゼンテーションを判断材料とし、進級や卒業を認定します。 (1) 医療健康スポーツ科スポーツトレーナー・インストラクターコースでは、トレーニングの基礎知識を理解し、クライアントに応じたトレーニングメニューを組むことができ、栄養や日常生活へのアドバイス、サポートができること。 (2) NSCA-CPT の受検  2. 卒業の要件 (1) 本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。 ※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること (2) 欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。  3. 卒業判定 (1) 卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席

日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。  
(2)最終の卒業認定は学校長が行う。

#### 学修支援等

##### (概要)

クラス担任制。学生との二者面談を定期的に実施し、また保護者との三者面談も実施し、学習や就職等の支援を行っている。

#### 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 ( 0%)	4人 ( 100%)	0人 ( 0%)

##### (主な就職、業界等)

スポーツクラブ、リラクゼーションスペース、幼少年スポーツ指導企業

##### (就職指導内容)

1. スポーツクラブの見学会、インターンシップを通じ、適性の確認、マッチングを試みる。
2. 二者面談及び三者面談での希望及び意思確認のうえ、書類作成、面接、集団討論、グループディスカッションなどの就職試験対策を隨時実施。
3. スポーツトレーナーによる講演会の実施。

##### (主な学修成果（資格・検定等）)

NSCA-CPT、フィットネスクラブ・マネジメント技能検定（国家検定）、ベーシックセブン、シナプソロジーインストラクター、食生活アドバイザー検定、全経簿記検定、日商簿記検定、電卓検定、手話検定、秘書検定など

##### (備考) (任意記載事項)

#### 中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%

##### (中途退学の主な理由)

進路変更（就職）

##### (中退防止・中退者支援のための取組)

担任による学生との面談と保護者への学校生活や学習状況の報告を定期的に実施、新入生の保護者説明会と三者面談の実施

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
プライダルビジネス科	150,000 円	670,000 円	210,000 円	
医療健康スポーツ科	150,000 円	660,000 円	210,000 円	医療事務コース
医療健康スポーツ科	150,000 円	680,000 円	250,000 円	スポーツトレーナー・インストラクターコース
修学支援 (任意記載事項)				
向洋学園特待生制度 (1年次の年間授業料を免除。選考試験を行い結果により免除額が決まる。)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法  (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページの「学校情報」にて公表： <a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>												
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)  1、より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通して、自己評価の結果を評価することを目的とする。 2、多様な意見を聴取することを目的に関連企業の方などを中心に委員を任命する。 3、委員会は、教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえ評価を行う。また、学校を取り巻く課題などを委員に説明し意見を聴取し、学校として早急に対応していく。 4、原則として、年1回実施する。												
学校関係者評価の委員  <table border="1"><thead><tr><th>所属</th><th>任期</th><th>種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>いでわき医院 院長</td><td>令和7年4月1日～令和8年4月1日 (1年)</td><td>企業委員等</td></tr><tr><td>株式会社ニューウェルシティ宮崎 総支配人</td><td>"</td><td>企業等委員</td></tr><tr><td>有限会社錦屋衣装店 ベニール錦屋 代表取締役社長</td><td>"</td><td>企業等委員</td></tr></tbody></table>	所属	任期	種別	いでわき医院 院長	令和7年4月1日～令和8年4月1日 (1年)	企業委員等	株式会社ニューウェルシティ宮崎 総支配人	"	企業等委員	有限会社錦屋衣装店 ベニール錦屋 代表取締役社長	"	企業等委員
所属	任期	種別										
いでわき医院 院長	令和7年4月1日～令和8年4月1日 (1年)	企業委員等										
株式会社ニューウェルシティ宮崎 総支配人	"	企業等委員										
有限会社錦屋衣装店 ベニール錦屋 代表取締役社長	"	企業等委員										
学校関係者評価結果の公表方法  (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページの「学校情報」にて公表： <a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>												
第三者による学校評価 (任意記載事項) 無												

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページの「学校情報」にて公表： <a href="https://www.bridal-medical.jp/company_new/">https://www.bridal-medical.jp/company_new/</a>
--